

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

(一社)日本塗料工業会 室内環境対策の自主表示
ガイドライン「非トルエン・キシレン塗料」に適合

JIS A6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E 主材

水性反応硬化形微弾性ホールド材

アレスホルダーZ

ローラー
作業性良好

透湿性良好

塗り継ぎムラ
が出にくい

溶剤上塗り
OK

弾性上塗り
OK

下地調整材

下塗材

中塗材

3つの機能が一つになった!



関西ペイント

アレスホルダーZ

樹脂の結合力が強く
下地剛性に優れた
下地調整材です。



標準塗装仕様

共通工程(素地調整)

工程	処置
新設	エフロ・レイタンス・ゴミ汚れなどをワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて、除去・清掃し、エポキシシーラーを塗装する。(注1) (pH10以下、含水率8%以下とする。)
塗り替え	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処理を催す。劣化した旧塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。(注2)

注1) シーラーは、エポキシ樹脂シーラーも使用できます。
注2) 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸い込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。

共通工程(下地調整材)

①旧塗膜のテクスチャーを変えた仕上げ(さざ波模様仕上げ)

工程	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
下地調整材 (下塗り・中塗り)	アレスホルダーZ 上水	0.8~ 1.5	1	1~5	8時間以上 7日以内	多孔質 ローラー
上塗り	各種上塗り(上塗りについては、右記上塗り塗装工程参照)					

②旧塗膜のテクスチャーを生かした仕上げ

工程	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
下地調整材 (下塗り・中塗り)	アレスホルダーZ 上水	0.3~ 0.5	1	5~10	8時間以上 7日以内	ウールローラー
上塗り	各種上塗り(上塗りについては、右記上塗り塗装工程参照)					

(※)標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
(平滑面では下限値を目安としてください。)

JIS A 6909 適用システム

可とう形改修塗材E	主 材:本品 上塗材:アレスアクアシリコンACⅡ、コスモシリコン、アレスアクア タン、コスモレタン、アレスアクアグロス
-----------	---

荷姿: アレスホルダーZ

容量: 16kg

■施工上の注意事項

- セメントモルタルやコンクリート面は含水率8%以下、pH10以下になるまで乾燥させてください。
- 躯体や構造からの漏水がある場合、止水処理を行ってください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上、降雨、降雪、強風が予想されるときは、塗装しないでください。

■ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守って下さい。
詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■予防策

- 取り扱っている作業中、乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱いは、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■対応

目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

上塗り塗装工程

①水性反応硬化樹脂塗料

樹脂系	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
シリコン樹脂	アレスアクアシリコンACⅡ 上水	0.13	2	5~10	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.16		5~10		
ウレタン樹脂	アレスアクアレタン 上水	0.13	2	3~10	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.16		3~10		
アクリル樹脂	アレスアクアグロス 上水	0.15	2	3~10	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.18		10~20		

②コスモシリーズ

樹脂系	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
シリコン樹脂	コスモシリコン 上水	0.13	2	3~12	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.16		3~12		
ウレタン樹脂	コスモレタン 上水	0.13	2	3~12	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.16		7~10		
アクリル樹脂	コスモアクリル 上水	0.13	2	3~12	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.16		7~12		

③低汚染形セラミック変性高耐候性塗料

樹脂系	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
ウレタン樹脂	アレスセラレタン(ベース/硬化剤=4/1) アレスウレタンシンナー	0.13	2	0~10	16時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.15		10~30		

④高耐候性万能形ターベン樹脂塗料

樹脂系	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
ウレタン樹脂 (2液)	セラMLレタン(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	2	5~15	4時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.14		10~30		
ウレタン樹脂 (1液)	カンペ1液MLレタンHG 塗料用シンナーA	0.13	2	5~15	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス
		0.17		5~20		

⑤多機能シリコン樹脂系単層弾性塗料 (注3)

工程	塗料・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装 回数	希釈率	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
上塗り (1回目)	シリコンテックス 上水	0.8~ 1.0	1	0~2	4時間以上 7日以内	多孔質 ローラー
上塗り (2回目)	シリコンテックス 上水	0.15~ 0.30	1	10~15	—	ウール ローラー

注3) 下地調整材の工程は、共通工程(下地調整材)の②の要領で塗装してください。

(※)標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

- 旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどで除去し、加圧水洗後一日乾燥させて塗付してください。
- 気温0℃以下、40℃以上の保管は避けてください。

皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

●漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■廃棄

●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■施工後の安全

●本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935

中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)411-3339

ご用命は